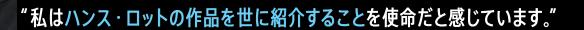


常任指揮者ヴァイグレが1年目のプログラムを組む上で、「ぜひとも演奏したい」と希望した曲がある。オーストリアの作曲家ハンス・ロット(1858-1884)が完成させた交響曲だ。ヴァイグレは「たぶん・・・」と言って声を潜め、「マーラーの数々の交響曲は、ロットの交響曲なしには生まれてなかったんだ」と頷いた。ロットは20歳のとき、コンクールのためにこの交響曲の第1巻音を作曲したが、1位に舞り

ロットは20歳のとき、コンクールのためにこの交響曲の第1楽章を作曲したが、1位に輝いたのは2歳年下のマーラーだった。ロットの曲は審査員や聴衆から嘲笑され、彼は落胆。しかしブルックナーは彼の才能を信じて援助を続けた。2年後、ロットはこの交響曲を完成させる。作品の特徴についてヴァイグレが語った。

「若くしてこのような曲を書いたことは本当 に驚くべき才能で、作曲への強いエネルギー を感じます。 ブルックナーのような特徴も見ら れます。ブルックナーの弟子だったロットは、 オルガン的な色彩豊かな響きを用いました。 それ以外にも、自分が尊敬する作曲家、ベートーヴェン、ワーグナー、ブルックナー、ブラームスらへの尊敬の念も込めていると思う」

一方で、マーラーの作品に似たところも。ヴァイグレがその理由を紐解いてくれた。「私も最初にスコアを見たとき、マーラーに似ていると感じました。しかし実際は逆で、マーラーがロットの交響曲に影響を受けたのです。ロットは25歳で精神科病院で亡くなり、この曲は100年もの間、埋もれてしまいました。それは、マーラーがロットの楽譜を持っていたからではないかと言われています」。実際にロットが書き終えた1880年は、マーラーが交響曲第1番に着手する前だ。「マーラーはこの交響曲を、密かに研究し尽くしたんでしょう」



ヴァイグレとこの曲の出会いは今から20年ほど前。バイエルン放送局のマネージャーから自筆譜の複写版を見せてもらったことに始まり、演奏会とCD録音、楽譜出版のプロジェクトへと発展した。自筆譜から楽譜を作る作業では、ヴァイグレ自ら400箇所以上を修正するなど校訂に携わった。その後、CD録音は好評を博し、世界各地で10以上のオーケストラと演

奏している。

「日本では、マーラーとブルックナーは大変 人気が高いと聞きました。でも、この二人の偉 大な作曲家の間には、ロットという才能溢れる 作曲家がいたことに、関心を持っていただけた らと。彼のユニークな才能、マーラーへ与えた 影響などを感じ取っていただければ嬉しいで す」と期待感を募らせた。

○読響

読響常任指揮者 セバスティアン・ヴァイグレ

2019年4月から読響第10代常任指揮者を務めるドイツの名匠。ベルリン生まれ。1982年からベルリン国立歌劇場管の首席ホルン奏者として活躍後、指揮者に転身。2003年にフランクフルト歌劇場でR.シュトラウス(影のない女)を振り、雑誌「オーバンヴェルト」の「年間最優秀指揮者」に選ばれた。04年から09年までバルセロナのリセウ大劇場の音楽総監督を務め、08年からフランクフルト歌劇場音楽総監督の任にある。同歌劇場は「オーバンヴェルト」の「年間最優秀オーケストラ」や「年間最優秀歌劇場」に輝くなど、その手腕は高く評価されている。バイロイト音楽祭、ザルッブルク音楽祭、ウィーン国立歌劇場、ベルリン放送響、ウィーン響などで活躍している。送

Subscription Concert, No. 591
Tue. 10th Sep. 2019 19:00 / Suntory Hall
Conductor= SEBASTIAN WEIGLE
Cello= ALBAN GERHARDT
PFITZNER: Cello Concerto in A minor, op. posth.
HANS ROTT: Symphony in E major

アルバン・ゲルハルト

力強いボウイングと温かな音色で魅了するドイツ・チェロ界の新皇帝。1969年、ベルリン生まれ。1991年ビシュコフ指揮のベルリン・フィルにデビューし、一躍その名を広めた。以後、ソリスト、室内楽奏者として欧米で活躍している。マズア、ドホナーニ、ティーレマン、エッシェンバッハ、サロネン、K、ペトレンコらの指揮で、ベルリン・フィル、ロイヤル・コンセルトへボウ管、ロンドン・フィル、シカゴ響、クリーヴランド管、フランス国立管、バイエルン放送響などと共演。J.ヴィトマン、ウンスク・チン、B.ディーンら現代作曲家との協同制作を行っている。2012年には、ドイツ鉄道とのコラボレーションとして主要駅でライヴを行い、話題を呼んだ。CDも数多くリリースしており、ヴァイグし指揮による「ブフィッツナー:チェロ協奏曲集」も高い評価を得ている。



読売日本交響楽団 第591回 定期演奏会

2019年 9月 10日(火)19時開演

サントリーホール 東京都港区赤坂1-13-1 Tel. 03-3505-1001 S ¥7,500 / A ¥6,500 / B ¥5,500 / C ¥4,000

●東京メトロ南北線「六本木一丁目」駅(3番出口)より徒歩約5分 ●東京メトロ銀座線「溜池山王」駅(13番出口)より徒歩約7分

学生券 学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。
■ 都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。あらかじめご了承ください。 ■ 未就学児のご入場は、固くお断りいたします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

読響チケットWEB http://yomikyo.pia.jp/

\*10時-18時・年中無休 \*座廃選択可/チケット郵送料無料

プレイガイド

チケットぴあ 0570-02-9999

サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017